

令和3年2月1日

BiSHの魅力

東放学園音響専門学校 音響技術科 2年Dクラス
平岩 将

目次

- 1.動機
- 2.BiSHとは
- 3.メンバー
- 4.BiSHの魅力
- 5.まとめ

1.動機

私が今回、BiSHの魅力について研究した動機はBiSHが気になつていて、なぜこんなにも興味を持つてしまったのか、またその魅力を研究したいと思ったからだ。

また、BiSHの良さをみんなに知ってもらい、少しでも興味を持って欲しいと思ったからだ。

2.BiSHとは

BiSHとは6人組の女性アイドルグループ。

BiSHは『Brand-new idol SHiT』（新生クソアイドル）の略。

キャッチコピーは『楽器を持たないパンクバンド。』

2015年3月に結成し、2016年5月にavexにてメジャーデビューを果たす。

3.メンバー

『イナ・ジ・エンド』

おりびと担当。

BiSHの大黒柱でなくてはならない存在。

ハスキーボイスがとても特徴的で彼女の歌声にど肝を抜かれる人が多い。

BiSHは振付師がいなく、全ての曲の振付を担当している。

『セントチヒロ・チッチ』

見た目はまじめ中身は悪女それでも彼氏は2人まで担当。

透明感がある、ストレートな歌声が特徴だ。

また、BiSHに加入する前には、強がりセンセーションというアイドルグループに所属していた。

『モモコグミカンパニー』

あまのじゃく担当

文才がとても良く、本を出版している。

『ハシヤスマツコ』

メガネ担当

とてもユーモア溢れるバラエティキャラでBiSHのみんなを和ませている。

単独ライブではバラエティキャラを生かし、毎回、10分間の寸劇をしている。

『リンリン』

無口担当

無口だがライブになるとシャウトをしたりするなどとても表現力が凄い人です。

『アユニ・D』

僕の妹がこんなに可愛いわけがない担当。

BiSHの最年少で、一番最後に加入した。

個人で「PEDRO」というバンドを組んでおり、ギターには「NUMBER GIRL」の田淵さんが担当している。

4.BiSHの魅力

・ついつい引っ掛ってしまうような名前や担当

BiSHはそれぞれ個性のある名前や担当があるので。

初めて聞いたら必ずは突っ込みたくなったり、調べたくなってひきつけてくれるのがBiSHの魅力

の1つだと思う。

・Live

Liveはヘッドバンギングやモッシュが多くとても激しい。今では禁止されているが当初ではダイブやリフトもあってとても話題になっていた。また、一体感が凄く、振付を真似したり、みんなで肩を組んだりとLiveならではの感度を味わえるのもとても魅力的だ。

そしてBiSHは生歌なのでメンバーの熱さや想い、一生懸命さがとても伝わってくるのでとても感動的だ。

・楽曲

BiSHの楽曲はパンクロックの様な曲もあり、エモーショナルな曲があれば、下ネタ全開の過激な曲もあるという、きっと好きになる曲が見つかるぐらい幅の広さがある。

メンバーも作詞しており、全員が作詞能力が高く、メッセージ性が強くとても人気がある。

また、今までのアイドルはサビを全員で歌うのが基本だったが、BiSHは必ずサビでも1人で歌うという、とても特徴的で今までのアイドル業界には無かったスタイルの形でとても新鮮味があると思う。

4.まとめ

今回の研究でBiSHはひきつけ方がとても上手だという事が分かった。名前や担当が個性的な事によって1回聞いただけでもかなりのインパクトを与える事ができるだろう。それで気になった人はBiSHについて調べ、曲を聞いてもらえるというチャンスが増えるだろう。また、今まで業界に無っかた新鮮味を出すことにより注目が上がったりと売り出し方が上手いと思った。メンバーが個性的で曲も人気で、ひきつけ方が上手いとこからBiSHの全てが魅力的だと思えてくるのではないだろうか。